



地域医療連携だより

H20.3
第17号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111(大代表)
TEL.0798-45-6001(地域医療・総合相談センター)



病院長 山 村 武 平

副院長 島 博 基 (経費削減担当)

太 城 力 良 (安全管理担当)

谷 澤 隆 邦 (診療支援担当)

山 田 繁 代 (療養環境担当)

地域医療・総合相談センター長

難 波 光 義

理 念

兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

基本方針

- 患者の立場に立った医療の実践
- 人間性豊かな、優れた医療人の育成
- 高度で、先進的な医療や医学研究の推進
- 健康増進活動による保健、福祉の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携

兵庫医科大学病院からのお知らせ

● 地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました ●

我が国では、質の高いがん医療の提供、がん医療水準均てん化の実現に向け、診療体制の整備を進めています。この度、当院は、平成20年2月8日付で、厚生労働大臣より「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。今後は、地域がん診療連携拠点病院として、さらなる機能充実、診療連携体制の強化に努めてまいります。



病院長のご挨拶

病院長 山 村 武 平

「人口動態統計」によれば、現在では年間30万人以上の国民が「がん」で亡くなっており、生涯のうちがんにかかる可能性は男性は2人に1人、女性は3人に1人とされています。そこで国が「がん対策」を総合的かつ計画的に推進していくに当たって必要不可欠な視点及び考え方を「がん対策推進基本計画」に示しました。

その全体目標はⅠ) 今後10年間にがん年齢調整死亡率(75歳未満)を20%減少させる、Ⅱ) すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上を図ることです。これを達成するた

めの施策として(1)放射線療法及び化学療法の推進並びに医療従事者の育成(2)緩和ケアの知識と技術の普及及びケアチームの設置(3)がん登録(4)がん医療に関する相談支援及び情報提供等々いくつかが挙げられています。(1)～(4)に関しては、本学「がんセンター」ですでに取り組んでいますが、(5)医療機関の整備等として、すべての拠点病院において、5大がん(肺、胃、肝、大腸、乳)に関する地域連携クリニカルパスの整備計画が目標として挙げられ、本学「がんセンター」の腫瘍評議会(後述)では、地域の病院・医院の先生方にオープンな会議として参加して頂き、連携クリニカルパスを徐々に整備していきたいと考えています。

是非、御参加、御協力をお願い致します。

「地域がん診療連携拠点病院」指定をうけて



がんセンター長 中野孝司

兵庫医科大学病院は、厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」に指定されました。

「地域がん診療連携拠点病院」は、国の推し進める『第3次対がん10ヵ年総合戦略』に基づき、がん患者さんが質の高い医療を受けることができる病院を国が指定するものです。兵庫医大では、従来以上に“がん”診療に力を入れております。PETセンターを新設し、昨年11月には「兵庫医科大学がんセンター」を設置致しました。多くの“がん”の専門家が集まり(腫瘍評議会)、診療科の枠を超えた横断的ながん診療体制の下で、最高水準の治療を患者さんに受けて頂きます。

また、兵庫医大はがんの専門家を養成する教育にも積極的に取り組んでおります。昨年、採択された文部科学省「がんプロフェSSIONAL養成プラン」によって、がん専門医の大学院制度も設置致しました。これによって多くのがん治療のプロが兵庫医大から育ちます。兵庫医科大学病院が地域がん診療連携拠点病院の指定を受けたことを皆様にお知らせ申し上げます。

■ 兵庫医科大学でのがん診療に対する取り組み

平成18年11月 PETセンター開設

※新型検出器(GSO)を搭載したPET装置と16列のマルチスライスCT装置を合体させた最新鋭のPET/CT装置を2台設置。

平成18年12月 中皮腫・アスベスト疾患センター開設

※アスベスト(石綿)が原因で発症するがん中皮腫の予防や発症メカニズムの解明、治療法の研究にあたる専門医療施設。

平成19年11月 がんセンター開設

※横断的ながん診療を行う機能を有する部門として「兵庫医科大学がんセンター」を設置。

がんセンターには、外来化学療法室が併設されており、専用リクライニングチェア17台、化学療法専用ベッド3台を設置。

その他、下記の要件を満たしています。

主に地域のかかりつけ医の先生方を対象とした、「地域医療懇談会(6月)」「病診・病病連携勉強会(11月)」を通じて研修会を実施、がん相談支援センターの設置(地域医療・総合相談センター、がんセンター内相談支援室)、院内がん登録等を行っています。

また、特定機能病院として、上記の“がんセンターの設置”のほかに、他のがん診療連携拠点病院との連携をすすめてまいります。

専門外来のご案内



乳腺内分泌外科
三好 康雄

乳腺内分泌外科のご案内

毎週 水曜日
受付 8時30分～11時
担当 乳腺内分泌外科診療部長 三好康雄
場所 1号館2階 外科(旧第2外科・1診)
TEL 0798-45-6251

当科では、昨年11月より乳腺内分泌外科部長に三好康雄が大阪大学より着任し、乳がんを中心に診断から手術、さらにはホルモン剤や抗癌剤による治療を行っています。

乳がんは、しばしばマンモグラフィによる石灰化によって発見される場合があります。石灰化しかない段階では、ステレオガイド下での針生検(マンモトーム)が不可欠ですが、当院ではその装置を有しています。さらにセンチネルリンパ節(がんが最初に転移するリンパ節)生検術を行い、転移のない場合には腋窩リンパ節の郭清術を省略することによって上腕の機能を温存し、乳房の術後の整容性を保つために、形成外科と共同で乳がんの手術と同時に乳房再建術を行う一期再建術にも対応できる体制を整えています。

術中にリンパ節転移の有無や乳がんの切除が適切に行われたかどうか、病院病理部による術中迅速診断を行い、術後には放射線科と連携して放射線治療を行っています。

また再発予防を目的にホルモン療法や通院による化学療法(抗がん剤治療)も行っています。

このように乳がんの診断から手術、術後療法まで幅広く対応できる診療体制を整えております。よろしくお願いたします。

潰瘍性大腸炎手術について

国内初の1,000例に達しました

平成19年12月19日、第二外科炎症性腸疾患グループでは、国内医療機関では初となる1,000例目の潰瘍性大腸炎の手術を実施しました。

潰瘍性大腸炎は、厚生労働省指定の難病で、20代を中心に高齢者まで幅広く発症する原因不明の炎症性腸疾患です。大腸の粘膜がただれ、下痢や腹痛を繰り返し、長期経過例では大腸がんを引き起こす危険性も高くなります。主な内科的治療法は薬物治療、血球成分除去療法や、食事療法などですが、薬物療法に抵抗する症例や、頻回な輸血を必要とするような出血症例などは手術で大腸を全摘します。国内の患者数は、毎年約5,000人ずつ増加していると言われ、現在では80,000人を超えたと推定されています。

当院では、肛門の括約筋のみを残し、大腸を全摘して、小腸で便をためる袋を作り、肛門と吻合する手術を行っています。近年は年間90から100例のペースで実施しており、国内では最も多い手術数を誇ります。

今後は、さらに経験と改善を重ね、開腹部分の傷をさらに小さくするなどの技術改善を図り、患者様の負担軽減、QOLの向上に取り組んでまいります。

市民健康講座のお知らせ



特定機能病院として、より高度な医療技術と医療情報を提供するとともに、地域の基幹病院として、患者様やその家族、そして地域住民の皆様との間に医療を通じて深い信頼関係を築き、患者サービスの向上を図ることを目的として、本講座を定期的に開催しております。

どなたでも、ご自由に参加できますので、どうぞ受講下さい。

開催場所：兵庫医科大学 第3会議室（10号館3階）

開催時間：午後3時～4時30分 参加費無料・申込不要（定員60名）

○ お問い合わせ先：0798-45-6035（ダイヤルイン）

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター

開催日	テーマ	講演者
3月12日（水）	皮膚病の新しい治療	皮膚科講師 樽谷勝仁
3月26日（水）	大腸の検査について （大腸カメラ・注腸等）	内科助教 應田義雄 下部消化管科
4月9日（水）	治る脳腫瘍	脳神経外科教授 有田憲生
4月23日（水）	最近の食道癌治療	外科講師 藤原由規
5月14日（水）	更年期とうまく付き合おう	産婦人科准教授 小森慎二
5月28日（水）	COPDの話	内科助教 田村邦宣 呼吸器・RCU科
6月11日（水）	女性に特有な精神的問題について	精神科神経科助教 西井理恵
6月25日（水）	こどもと食物アレルギー	小児科助教 澤木潤子

人事異動のお知らせ

病院事務部・地域医療課長の佐藤浩治が、平成20年1月1日付にて病院事務部・医療安全課長へ異動になりました。また課長補佐・北出篤も平成19年12月1日付にてPETセンター事務長就任のため異動になりました。後任に、病院事務部次長・甲斐義啓（カイ ヨシヒロ）が地域医療課長兼務で就任致しました。宜しくお願い致します。

◆編集・発行

平成20年3月1日

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター 〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL 0798-45-6111（大代表） 0798-45-6001（地域医療・総合相談センター）

FAX 0798-45-6002（紹介予約専用）

E-mail: chiiki@hyo-med.ac.jp <http://www.hyo-med.ac.jp>（ホームページアドレス）

